

- 食料自給率の向上には増産が欠かせない。
- 一方、生産者の経営安定の観点からは、量を追求するだけでなく、付加価値の高い（売れる・魅力のある）ものづくりも並行して進めていく必要がある。
- しかしながら産地のおかれている状況、考え方は様々で、一律の支援、進め方では対応が困難。

⇒意欲ある産地が主体となった取組みを応援していく。

<想定される支援等>

- ・産地の実状に応じた「チャレンジ」に必要な経費の助成（これが基本）
- ・産地だけでは対応が難しい分野（新品種開発、流通改善等）に対しては県が積極的にサポート

テーマ別検討：魅力ある農畜水産物づくり

<産地等との意見交換に基づく施策等の一例①>

下線：県が積極的にサポート

品目	主な施策等
[野菜]	温暖化対策を核とした生産拡大（ほうれんそう、だいこん、トマト等） - 温暖化対策を見据えた、最適な品種構成の構築支援 - 集出荷施設整備等の支援 <u>AIを活用したトマトのスマート生育診断・スマート商流技術の開発</u>
	機械化を核とした生産拡大（えだまめ） 岐阜県産ブランドの品質を維持した収穫作業等の機械化の支援
[果樹] [花き] [特産]	岐阜県育成品種を核とした生産拡大（果樹） <u>温暖化に適応した新品種の育成と、品種の再構成による産地再生</u> - 高品質化と流通拡大に向けた、共同選果場の整備支援 <u>柿の輸出用品質保持技術の確立</u>
	県育成品種の販売戦略・PRの見直し（花） - 県育成品種の戦略的な販売に基づく計画的な増殖・生産の支援 <u>有利販売につながるネイティブフラワー新品種育成</u>

テーマ別検討：魅力ある農畜水産物づくり

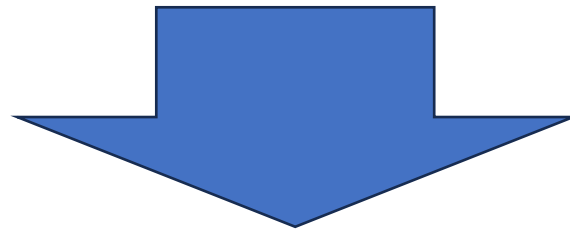
<産地等との意見交換に基づく施策等の一例②>

下線：県が積極的にサポート

品目	主な施策等
[コメ]	地域の特性を生かした酒米産地づくり ・酒蔵が求める量と品質の酒米生産の推進
	高温に強いハツシモの品種改良 ・ハツシモの特性(食味)を持つ、高温耐性＆多収品種の育成
[畜産]	脂肪交雑（サシ）にとらわれない新たな飛騨牛ブランド策定 ・飛騨牛ブランドと並行した、消費者ニーズに合致した和牛肉生産の推進
[水産]	養殖業における新たなブランド水産物の開発・普及 ・ <u>三倍体アユ、観光ニーズに沿ったイワナ等の開発</u>

テーマ別検討：新たな販売ルートの確保

- ・大消費地である名古屋に隣接
- ・本県に沢山のインバウンドが訪れている
(外国人延べ宿泊者数：過去最高の230万人(R6))
- ・消費者・生産者がともに納得できる価格（コメ）



品目・状況に応じた多様な流通ルートの確立

流通の多様化により「儲かる農業」へ

テーマ別検討：新たな販売ルートの確保

＜生産者等との意見交換に基づく施策等の一例＞

1. 品目ごとの新たな流通ルートの開拓

コメの最終消費者に至る流通ルートの多様化

天然鮎の広域集出荷システムの構築・展開

- ・天然鮎のブランド化と集出荷システムの構築→「天然アユ広域集出荷拠点」

2. 立地や集客力等を活かした販路拡大

身近な大消費地（名古屋）をターゲットとした新たな販売ルートの確保

- ・ギフトプレミアム機能強化
- ・中京圏での県産食材のブランド力向上と販路拡大

新たな輸出戦略の展開

- ・地域商社の育成と多様な農産物輸出の伴走支援
- ・インバウンド需要等に対応した県産米、県産食材の提供

3. 生産者の販売戦略に応じた多様な販売チャネルを活用した販売展開

岐阜県産米のサブスク制度の波及

生産者と消費者をつなぐ供給体制構築

- ・ECの活用、生産者及び直売所支援、学校給食との供給体制構築